

優秀賞

tama blue green prize

多摩グリーン賞【経営部門】

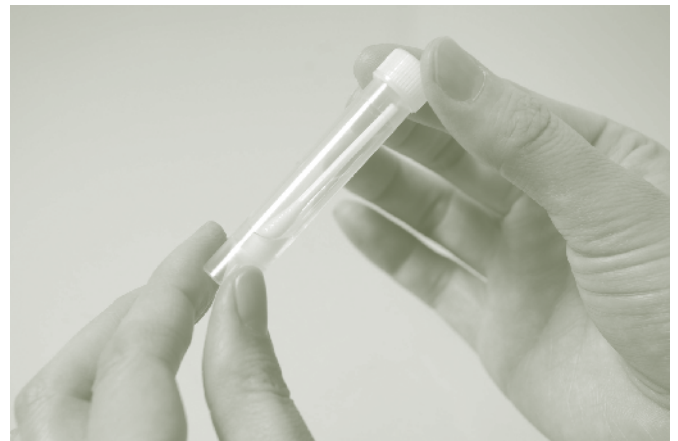
株式会社 アイ・ラボCytoSTD研究所

# アイ・ラボ発！これからの 子宮頸癌・性感染症検査システム

子宮頸癌の検査は細胞診という方法で行われます。検体（検査試料）は婦人科医によって採取され、顕微鏡で観察するのにふさわしい標本を作製しなければなりません。ところが、医師や看護師によって作製される2～3割の標本は適正とはいえないのです。

私共はこの問題を解決するため、検体搬送用保存液（アイ・ラボPS）を開発し、標本作製の場を医療現場から検査所（ラボ）にシフトするシステムを考案しました（実用新案登録第3150826号）。そして、診断で最も大切な標本作製を専門の細胞検査士が行うことで、不適正標本は0.1%に激減し、その原因は医師の採取量不足に限られ、実質不適正標本ゼロを達成できました。

アイ・ラボPSには付加価値があります。検体となる細胞や微生物は保存液中に存在しますので、淋菌、クラミジアおよびHPV等の感染症は遺伝子検査法で、また、トリコモナスやカンジダ、細菌性陰症は形態学的に調べることができます。1本の採取で複数の検査に応用できますので、医療現場の効率性が図られ、医療ミスの減少や患



者への負担軽減から、忙しい先生方から好評を頂いております。

当社は、性感染症に特化した検査所ですので、性感染症の撲滅が使命です。医療機関と共同で郵送検査も実施しておりますが、これまで19歳を筆頭に25歳以下の高度上皮内病変を10名発見しています。20歳になったら子宮頸癌検診を受けましょう。アイ・ラボでは「恥ずかしい」「忙しい」人には自己採取法を用意しています。

## 会社概要

株式会社 アイ・ラボCytoSTD研究所

代表取締役	椎名 義雄		
本社所在地	〒193-0826 東京都八王子市元八王子町1-538-1		
業務内容	登録衛生検査所（臨床検査）		
資本金	1,000万円	沿革	創業 平成14年
主な販売・受注先	フクイ産婦人科クリニック、たて山レディースクリニック		
従業員数	正社員：2名（パート・アルバイト：1名） 平均年齢：45歳		

## 連絡先

熊谷 朋子【検査部】

U R L	<a href="http://www.ilabo-cyto-std.com">http://www.ilabo-cyto-std.com</a>		
E - m a i l	Tomoko_Kumagai@ilabo-cyto-std.com		
T E L	042-652-0750	F A X	042-652-0750